

# 定例公安委員会開催概要

## 1 開催日

令和6(2024)年4月24日

## 2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

### ■全体会議

#### 【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「自衛隊ヘリコプターの事故が発生したとの報道を目にし、大変心が痛い。白バイの出勤式でも話をしたが、くれぐれも事故防止を徹底していただきたい。昨年のニューヨークタイムスの影響かもしれないが、県内への観光客が増加している。行楽シーズンに入るので、様々な警備をしっかりと対応してもらいたい。」

旨の発言があった。

#### 【警務部議題】

##### ○ 警察あて苦情の受理・処理状況について

警察本部から、「警察あて苦情の受理・処理状況について、本年3月中の受理は0件で、前年同期比マイナス5件となっている。3月中の処理は3件であった。」旨の報告があった。

#### 【生活安全部議題】

##### ○ 専決事務処理状況（令和6年1月～3月）について

警察本部から、「専決事務処理状況（令和6年1月から3月）について、主な項目を報告する。「風営適正化法関係」のうち、専決者を生活安全企画課長とする「営業の許可、遊技機の検定・認定等」の件数が増加しているが、その理由は、ぱちんこ業者からの遊技機の認定件数が前年同期より増加し、遊技機認定の需要自体が前年同期より増加したためと思われる。専決者を署長等とする「風俗営業の変更承認等」の件数が減少しているが、その理由は、役員や管理者の住所変更や構造設備を変更した場合等に行う変更届出が減少したためである。「警備業法関係」のうち、専決者を署長とする「変更届、講習・検定申込みの受理等」の件数が増加しているが、その理由は、警備業務の検定合格証明書の交付申請の届出受理や合格証明書書換え申請の届出受理等が増加したためである。「銃刀法関係」のうち、専決者を署長等とする「上記以外の銃砲所持許可の更新等」の件数が増加しているが、その理由は、所持許可の更新申請が増加したためである。「火取法関係」のうち、専決者を署長等とする「運搬届、猟銃用火薬類の譲受・譲渡許可等」の件数が減少しているが、その理由は、工事に使用する業務用火薬に関する届出件数が減少したことや猟

銃の所持許可者が減少したためである。「インターネット異性紹介事業を利用して児童を誘引する行為の規制等に関する法律関係」のうち、いわゆる出会い系サイト事業者に係る各種届出については取扱いがなかった（前年同期比増減なし）。「青少年に対する性風俗関連特殊営業の利用を誘発する行為等の規制に関する条例関係」のうち、いわゆるツーショットダイヤルの利用カード販売所等に係る各種届出についても取扱いがなかった（前年同期比増減なし）」旨の報告があった。

## 【交通部議題】

### ○ 専決事務処理状況（令和6年1月～3月）について

警察本部から、「専決事務処理状況（令和6年1月から3月）について、増減が大きいなど主な項目を報告する。「交通企画課関係」のうち、「安全運転管理者等に関する届出受理」については、「新規」が増加しているが、これは、建設業の新規届出が増加したことによるものである。「交通規制課関係」のうち、前年同期に取扱いのなかった「道路標識・標示の設置」については、2月に宮古市での電線地中化事業に伴い、一方通行規制に関連する指定方向外進行禁止の変更、廃止が行われたことによるものである。「交通指導課関係」のうち、「監督行政庁に対する道路交通法違反通知」については、3月に事業用普通乗用自動車（タクシー）による死亡事故に関する通知を運輸支局に対して行ったものである。「運転免許課関係」のうち、更新時講習、つまり運転免許の更新者数が増加しており、その要因としては、平成6年に新設された有効期間が5年間の運転免許により、5年周期の更新者数の増減の波ができており、昨年が最も更新者数が少ない年にあたっていたことによるものである。」旨の報告があった。

## ■個別会議

### ○ 監察課

運転免許停止処分に対する審査請求の受理についての報告  
監察課業務報告

### ○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

### ○ 人身安全少年課

ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく禁止命令等実施報告

### ○ 総務課

公安委員会あて苦情の受理についての報告、決裁

### ○ 留置管理課

令和6年度岩手県留置施設視察委員会委員の推薦依頼についての報告、決裁